

ワーキングチーム会議（第5回）の論点Ⅲ

最終報告に向けて

【第4回ワーキング及び第3回本検討会の議論を踏まえて】

ア 装備、教育訓練等

- ・安全靴などの安全装備の充実
- ・無線等通信機器の整備
- ・地域によって消防団に求められる活動内容が違う。
求められる活動内容に応じた装備と教育訓練
- ・消防団に求める活動内容の整理が必要
- ・大規模災害時において活動が長期化した場合への備えが必要（食糧、燃料、装備）

イ 処遇

- ・報酬、手当は団員本人に支給すべき。
- ・報酬、手当のあり方は地域の事情（他の自治会組織などとの関係、伝統）、活動内容などによって大きく異なる。
活動内容に応じた処遇の改善は重要。特に大規模災害時において活動が長期化した場合の手当（費用弁償）は充実すべき。

ウ 広域応援

- ・消防団員は他に生業等があることから難しい面もあるが、同一都道府県内や隣接した地域などであれば応援出動することも可能。応援出動したいとの意見もある。地域の状況を知っているなど独自の強みを発揮することもあり得る。消防団の相互応援協定の締結を促進すべき。

エ その他